

令和2年6月1日

生徒指導通信

NO. 1

ACTION

日光中学校 HP



いじめのない学校を目指して

いじめは他人の教育を受ける権利を著しく侵害し、その人の人格を傷つけ、時には生命に重大な危険を生じさせる「絶対に許されない」行為です。

栃木県教育委員会では以前、いじめの問題解決と防止に学校/家庭/地域が一丸となって取組み、社会全体で子どもを守り、育てていくことを確認する「いじめ防止県民大会」を開催し、いじめのない環境づくりに向けた大人の姿と行動を「大会宣言」として示しました。また、いじめを許さない環境づくりのために家庭や地域に求められる4つの役割を明らかにしました。下記に掲載いたしますので、御家庭におかれましても御協力をお願いします。

【いじめ防止県大会「大会宣言」】

- 1 いじめを未然に防止、早期発見できる地域の人間関係を構築すること
- 2 不安や悩みを相談できる子どもと大人の人間関係づくり
- 3 いじめの防止につながる家庭教育を充実させること
- 4 子どもたちの模範となる大人の姿を見せること

情報活用能力を高めよう

新型コロナウイルスの感染拡大でまさに歴史的な転換期の今、インターネットの活用能力向上が急務となっています。スマートフォンやPCでのインターネットから知りうる情報を自分の目的に応じて正しく調べられる力を、こうした時期にしっかり身に付けられるようにしてほしいと思います。情報を選択し、間違いなく活用していく資質を会得していくには知識と経験が必要です。情報活用能力のことを「情報リテラシー」と言います。また、「情報モラル」とも言えます。

今後さらにインターネットの活用が求められる時代となっていきますので、こうした機会に注意していかなくてはならない点を挙げますので、日頃のSTAY HOME時に生かしてほしいと思います。

- 1 危険なサイトへのアクセスは絶対にしない。
- 2 面と向かって話せないことや誤解されることを書き込まない。
- 3 知人の写真等のアップや違法なダウンロードをしない。
- 4 パスワードの管理やフィルタリングなどの対策をしっかりとる。
- 5 使用時間や用途を決めるなどネット依存に対する自覚を持ち防止する。

.....キ.....リ.....ト.....リ.....
【返信欄】